

第1章 ひょうごの農林水産施策の取組

第1節 総括

1 総括的指標による評価・検証

「ひょうご農林水産ビジョン2030」全体の活動成果である総括的な指標について、起点である令和元年を上回った項目は、19項目のうち11項目（58%）となりました。令和元年を下回った項目の主な理由は、天候の影響による生育不良や担い手の高齢化による農産物生産量の減少、農家の高齢化等による廃業・減頭が規模拡大等の増頭ペースを上回ったことによる但馬牛繁殖雌牛飼養頭数の減少等によるものです。

項目	起点	実績		目標	
	R元①	R3②	②-①	R7中間	R12③
農産物生産量(千t)	474	454	△20	490	494
うち野菜生産量(千t)	283	271	△12	287	290
うち米・麦・大豆生産量(千t)	191	183	△8	193	194
農業産出額(畜産業を除く)(億円)	940	886 ※	△54	986	988
法人経営体数(法人)	610	702	+92	910	1,170
優良農地面積(ha)	61,621	61,546 ※	△75	61,197	61,136
但馬牛繁殖雌牛飼養頭数(頭)	14,060	14,001	△59	15,200	16,000
畜産業産出額(億円)	569	592 ※	+23	626	651
法人経営体数(畜産業)	127	137	+10	139	149
1経営体あたりの但馬牛繁殖雌牛飼養頭数(頭)	12.8	13.7	+0.9	16.2	20.0
素材生産量(千m)	443	527	+84	527	623
林業・木材産業産出額(億円)	594	562 ※	△32	602	634
意欲と能力のある林業経営体(経営体)	29	36	+7	34	38
漁船漁業・海面養殖生産量(千t)	110	117 ※	+7	115	119
うち漁船漁業生産量(千t)	44	41 ※	△3	46	47
うち海面養殖生産量(千t)	66	76 ※	+10	69	72
漁業産出額(億円)	485	488 ※	+3	468	490
漁業者1人あたりの漁業産出額(千円)	11,516	11,902 ※	+386	11,642	12,830
漁場環境改善面積(ha)	5,467	5,593	+126	5,579	5,749

※R3の実績は農林水産統計等が未公表のためR2実績

2 成果指標の点検・評価

現時点で評価データのある成果指標51項目（全56項目）の結果について、年度目標を達成「◎：100%以上」又は概ね達成「○：90%以上」している項目は、43項目/51項目（84%）で、ビジョンの目標達成に向けておおむね順調に進んでいると考えられますが、天候不順、高齢化による担い手不足、新型コロナウイルス感染拡大等により成果指標8項目の達成率が90%未満となっています。

達成率が低い各項目について、原因分析のうえ目標達成に向けた取組のさらなる推進が必要となっています。

基本方向/達成率	◎	○	△	▲	項目数	達成割合※
基本方向1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開	17	14	4	2	37	84%
基本方向2 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出	7	2	0	1	10	90%
基本方向3 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実	0	3	1	0	4	75%
施策全体（成果指標の項目総数）	24	19	5	3	51	84%

凡例：達成率100%以上◎ 90~100%○ 80~90%△ 80%未満▲ ※達成割合：90%以上の割合

第2節 施策の取組状況—施策の目標と評価—

基本方向1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

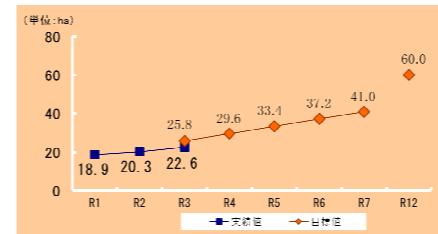
推進項目1 スマート化による新しい農林水産業の実現

（施設園芸における高度な環境制御技術の導入面積）【目標達成状況：△】

新型コロナ等の影響により売上が減少し、規模拡大や設備投資が見送られたため、目標を下回りました。

今後は、環境制御機器の導入や環境制御に取り組む前段階となる環境モニタリング機器の導入支援等により高度な環境制御技術の導入を推進します。

施設園芸における高度な環境制御技術の導入面積

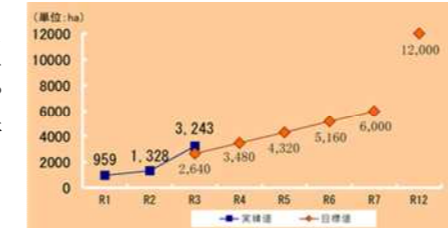


（土地利用型作物等における主なスマート農業技術利用面積）【目標達成状況：◎】

農薬散布用のドローン等の導入が進んだことから、目標を達成しました。

今後は、地域毎の多様な土地利用型農業に対応した営農技術体系の確立や課題を抱える産地とスマート農業技術を持つ企業とのマッチング等によりスマート農業技術の導入を推進します。

土地利用型作物等における主なスマート農業技術利用面積



推進項目2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

（野菜生産量）【目標達成状況：○】

担い手の高齢化による作付面積の減少や低温・干ばつによる生育抑制等により、目標をやや下回りました。

今後も、機械化による農作業の省力化や集落営農組織や企業参入などの多様な担い手による野菜生産の取組を支援します。

野菜生産量

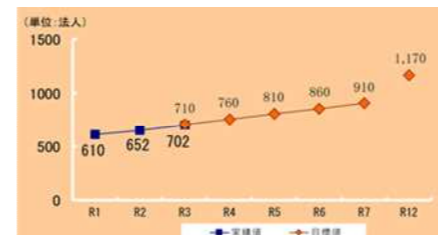


（法人経営体数）【目標達成状況：○】

農外企業の参入や個別経営体の法人化が進む一方、企業の撤退等の理由により目標をやや下回りました。

今後も、専門家の指導による経営確立、経営継承への支援等により収益力や持続可能性の高い経営の実現に向けた取組を支援します。

法人経営体数

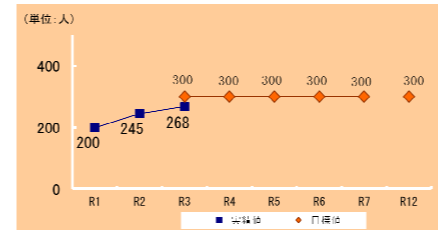


（新規就農者数）【目標達成状況：△】

新規就農者数は、コロナ禍を契機とした移住・就農への関心が高まる一方、他産業との人材の引き合い等により目標を下回りました。

今後は、就農支援センターによる伴走支援、地域就農・定着応援プランの作成促進とプランを活用した就農マッチングの実施等による就農・くらし支援体制の構築等を進め、多様な人材の確保に向けた取組を推進します。

新規就農者数

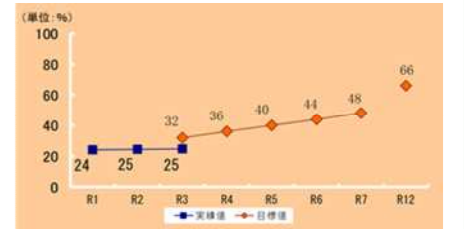


（担い手への農地集積率）【目標達成状況：▲】

農地所有者と担い手の条件面でのミスマッチや、担い手の世代交代が進んでいないこと等により目標を下回りました。

今後は、関係機関が有する地域の人・農地に関する情報を有機的に連携させ「地域計画」の実現に向け、担い手への農地集積に向けた取組を支援します。

担い手への農地集積率

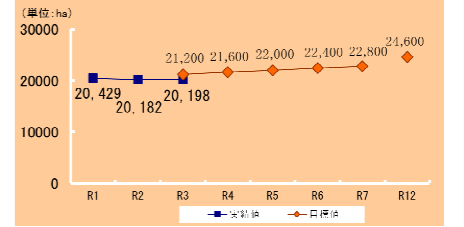


（環境創造型農業取組面積）【目標達成状況：○】

新規に取り組む生産者がある一方で、高齢化等の理由により取組をやめる生産者もあり目標をやや下回りました。

今後は、国のみどりの食料システム戦略に関する交付金等も活用し、環境にやさしい栽培技術と省力化に資する技術を取り入れた栽培体系への転換等の支援を行います。

環境創造型農業取組面積

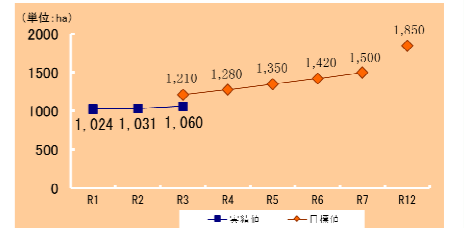


（有機農業取組面積）【目標達成状況：△】

新規取組者の増加により着実に伸びている地域がある一方、高齢化や手間のかかる農法である等により規模拡大が困難なため全体としては目標を下回りました。

今後は、国のみどりの食料システム戦略に関する交付金等を活用し、市町等を中心とした産地づくりを支援するとともに、新規取組者の育成等を進めることにより、有機農業の取組拡大を推進します。

有機農業取組面積



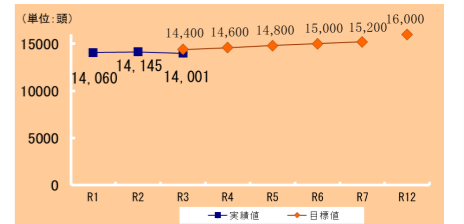
推進項目3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

（但馬牛繁殖雌牛頭数）【目標達成状況：○】

農家の高齢化等による廃業・減頭が規模拡大等の増頭ペースを上回ったことにより、目標をやや下回りました。

今後も、繁殖雌牛の導入及び牛舎整備・改修への支援や、新規就農者の初期投資軽減を図る等により、さらなる但馬牛繁殖雌牛の増頭を推進します。

但馬牛繁殖雌牛頭数



（但馬ビーフ供給頭数）【目標達成状況：○】

繁殖雌牛の増頭による雌子牛の保留が多く雌子牛の肥育素牛の出荷頭数が減少したため、目標をやや下回りました。

今後も、但馬牛繁殖雌牛の増頭対策の推進等により肥育素牛の生産拡大の取組を推進します。

但馬ビーフ供給頭数

